



## 2021年5月期 第4四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 ブックオフグループホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9278 URL <https://www.bookoffgroup.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 康隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 渡邊 憲博 TEL 042-769-1513  
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年5月期第4四半期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年5月期第4四半期	80,127	—	1,622	—	2,135	—	△69	—
2020年3月期	84,389	4.4	1,428	△7.8	1,898	△10.5	240	△88.9

- (注) 1 包括利益 2021年5月期第4四半期 △26百万円(—%) 2020年3月期 232百万円(△89.7%)  
 2 2021年5月期は決算期変更により14ヶ月決算となっておりますので、対前年同四半期増減率については記載して  
 しておりません。  
 3 2020年3月期については、通期の数値を記載しております。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年5月期第4四半期	△3.96	—
2020年3月期	13.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年5月期第4四半期	40,788	12,716	31.0
2020年3月期	41,535	12,848	30.7

(参考) 自己資本 2021年5月期第4四半期 12,629百万円 2020年3月期 12,768百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	—	6.00	6.00
2021年5月期	—	0.00	—	—	—	—
2021年5月期(予想)	—	—	—	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年5月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	—	1,750	—	2,300	—	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 決算期変更の経過期間となる2021年5月期は、2020年4月1日から2021年5月31日までの14ヶ月決算となるため、  
 対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年5月期4Q	20,547,413株	2020年3月期	20,547,413株
② 期末自己株式数	2021年5月期4Q	3,100,000株	2020年3月期	3,100,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年5月期4Q	17,447,413株	2020年3月期	17,447,413株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) キャッシュ・フローに関する説明	3
(3) 財政状態に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第4四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第4四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中における将来に関する事項は、当第4四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、当社は決算期変更に伴い、当連結会計年度は14ヶ月の変則決算となっております。このため、前年同四半期との比較は行っておりません。

当社グループは創業時より「事業活動を通じての社会への貢献」と「全従業員の物心両面の幸福の追求」の2つを経営理念としております。また、当社グループが当連結会計年度に30年目を迎えるにあたって中期経営方針を策定し、この方針の中で改めて経営理念に立ち返り、私たちのミッションとして「多くの人に楽しく豊かな生活を提供する」を掲げております。

このミッションに基づき、拡大するリユース市場の中で私たちの強さを活かし、「本を中核としたリユースのリーディングカンパニー」として、世の中の変化に対応して最も多くのお客様がご利用されるリユースチェーンとなることを目指します。

そのための基本戦略として次の2つを掲げております。

#### 基本戦略Ⅰ：個店を磨く

店舗型とネット型それぞれのリユースサービスを磨き上げることが、最も多くのお客様にご利用いただけるリユースのリーディングカンパニーとなるための出発点と考え、各店舗別パッケージ・サービスに応じた磨き込みを行います。

#### 基本戦略Ⅱ：総力戦で取り組む

これまでの当社グループは店舗と店舗以外の事業がそれぞれ個別にサービスを提供していましたが、今後は会員制度や販売・買取のプラットフォーム、それらを支えるシステム等を統合し共通化してまいります。そして、各サービスで蓄積された会員・商品情報、運営ノウハウ等の資産を全てのサービスで活用いたします。これらを実現するのが「ひとつのBOOKOFF」構想です。

このような経営方針の下、当第4四半期連結累計期間に計3店舗（国内にBOOKOFF SUPER BAZAAR1号京都伏見店とBOOKOFF 大野城御笠川店、マレーシアにJalan Jalan Japan Tesco Rawang店）を出店しました。

また、「ひとつのBOOKOFF」構想を実現するべく、アプリ会員向けのサービス施策の充実や電子買取システムのフランチャイズ加盟店向け展開のほか、ECサイト「BOOKOFF Online」を活用したオムニチャネル化並びにO2O戦略を推進するべく、継続的に投資を行っております。

当第4四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年4～5月に緊急事態宣言並びに休業要請を受け、対象地域・店舗を中心にグループ直営店の過半の店舗を全日休業もしくは土日祝日休業とした結果、既存店売上高は前年を大きく下回りました。なお、5月中旬からは営業時間や売場面積を縮小するとともに、感染防止に最大限の配慮をしながら一部店舗を除き順次営業を再開し6月上旬の時点で、ほぼ通常営業となりました。また2021年1～3月、2回目の緊急事態宣言では感染防止に最大限の配慮をしながらの営業を継続しました。国内グループ直営既存店の月別売上高は、4月、5月は前年同月を大きく下回ったものの、6～8月、10月、2月、3月は前年同月を上回っております。また、休業や時短営業の影響とコスト抑制により販売管理費は前年を下回って推移しました。

これらの結果、当第4四半期連結累計期間の経営成績は、売上高80,127百万円、営業利益1,622百万円、経常利益2,135百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失69百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失の要因は、新型コロナウイルス感染症による損失や連結子会社(株)ジュエリーアセットマネジャーズに係るのれんについての減損損失等、特別損失を計上したことによるものです。

（2）キャッシュ・フローに関する説明

当第4四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ539百万円増加し、6,634百万円となりました。

当第4四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は2,855百万円となりました。これは、減価償却費1,470百万円、減損損失674百万円、税金等調整前四半期純利益611百万円等により資金が増加したことが主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は1,019百万円となりました。これは、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出544百万円、システムへの追加投資等に伴う無形固定資産の取得による支出353百万円、店舗譲受による支出126百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、減少した資金は1,289百万円となりました。これは、借入金の返済による借入金純減額751百万円、リース債務の返済による支出418百万円、配当金の支払額104百万円等により資金が減少したことが主な要因です。

（3）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第4四半期連結会計期間末における流動資産残高は24,395百万円（前連結会計年度末は23,704百万円）となり、690百万円増加しました。現金及び預金が539百万円、商品が367百万円増加したことが主な要因です。

（固定資産）

当第4四半期連結会計期間末における固定資産残高は16,393百万円（前連結会計年度末は17,830百万円）となり、1,437百万円減少しました。有形固定資産が431百万円、無形固定資産が793百万円、投資その他の資産が211百万円減少したことが主な要因です。

（負債）

当第4四半期連結会計期間末における負債残高は28,071百万円（前連結会計年度末は28,687百万円）となり、615百万円減少しました。その他流動負債が370百万円増加した一方、借入金が751百万円、固定負債のリース債務が209百万円減少したことが主な要因です。

（純資産）

当第4四半期連結会計期間末における純資産残高は12,716百万円（前連結会計年度末は12,848百万円）となり、131百万円減少しました。剰余金の配当を実施したこと及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことが主な要因です。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社が2020年8月7日に発表した2021年5月期の連結業績予想を修正しました。詳細につきましては、2021年5月12日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第4四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,094	6,634
売掛金	1,898	2,072
商品	13,129	13,497
その他	2,583	2,191
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	23,704	24,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,187	3,967
リース資産(純額)	1,359	1,153
その他(純額)	727	720
有形固定資産合計	6,273	5,841
無形固定資産		
のれん	793	145
その他	1,210	1,064
無形固定資産合計	2,003	1,210
投資その他の資産		
差入保証金	7,561	7,484
その他	2,052	1,918
貸倒引当金	△60	△60
投資その他の資産合計	9,553	9,341
固定資産合計	17,830	16,393
資産合計	41,535	40,788

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第4四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	459	604
短期借入金	5,960	6,649
1年内返済予定の長期借入金	3,803	4,062
リース債務	417	344
未払法人税等	282	424
売上割戻引当金	512	404
店舗等閉鎖損失引当金	27	13
その他の引当金	497	410
その他	4,738	5,108
流動負債合計	16,697	18,021
固定負債		
長期借入金	8,058	6,359
店舗等閉鎖損失引当金	9	—
資産除去債務	2,358	2,383
リース債務	1,181	972
その他	381	334
固定負債合計	11,990	10,050
負債合計	28,687	28,071
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	6,485	6,485
利益剰余金	8,550	8,377
自己株式	△2,343	△2,343
株主資本合計	12,792	12,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31	85
為替換算調整勘定	△55	△75
その他の包括利益累計額合計	△24	9
非支配株主持分	79	87
純資産合計	12,848	12,716
負債純資産合計	41,535	40,788

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第4四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	当第4四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	80,127
売上原価	31,300
売上総利益	48,827
販売費及び一般管理費	47,205
営業利益	1,622
営業外収益	
設備賃貸収入	322
自動販売機等設置料収入	116
古紙等リサイクル収入	214
助成金収入	285
その他	109
営業外収益合計	1,048
営業外費用	
支払利息	157
持分法による投資損失	9
設備賃貸原価	305
その他	62
営業外費用合計	534
経常利益	2,135
特別損失	
投資有価証券評価損	1
店舗等閉鎖損失	7
店舗等閉鎖損失引当金繰入額	4
固定資産除却損	56
減損損失	674
新型コロナウイルス感染症による損失	777
特別損失合計	1,523
税金等調整前四半期純利益	611
法人税、住民税及び事業税	493
法人税等調整額	175
法人税等合計	669
四半期純損失（△）	△57
非支配株主に帰属する四半期純利益	11
親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△69



(四半期連結包括利益計算書)  
(第4四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

		当第4四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失 (△)		△57
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		24
為替換算調整勘定		△22
持分法適用会社に対する持分相当額		29
その他の包括利益合計		31
四半期包括利益		△26
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		△35
非支配株主に係る四半期包括利益		8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第4四半期連結累計期間  
(自 2020年4月1日  
至 2021年3月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	611
減価償却費	1,470
減損損失	674
のれん償却額	129
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0
店舗等閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	4
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	△107
支払利息	157
持分法による投資損益(△は益)	9
店舗等閉鎖損失	7
投資有価証券評価損益(△は益)	1
固定資産除却損	56
新型コロナウイルス感染症による損失	777
売上債権の増減額(△は増加)	△174
たな卸資産の増減額(△は増加)	△332
仕入債務の増減額(△は減少)	145
その他	424
小計	3,856
利息及び配当金の受取額	7
利息の支払額	△158
新型コロナウイルス感染症による損失の支払額	△738
法人税等の支払額	△363
法人税等の還付額	252
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△544
無形固定資産の取得による支出	△353
差入保証金の差入による支出	△90
差入保証金の回収による収入	234
店舗譲受による支出	△126
その他	△139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	689
長期借入れによる収入	2,550
長期借入金の返済による支出	△3,990
リース債務の返済による支出	△418
配当金の支払額	△104
その他	△15
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,289
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	539
現金及び現金同等物の期首残高	6,094
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,634

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症の拡大及び緊急事態宣言の発令により、店舗の営業状況、来店客数が変化しております。

当社グループでは、固定資産の減損会計等の会計上の見積りにおいて、当四半期連結財務諸表作成時までに入手可能であった店舗の営業状況等を踏まえ見積りを行っております。

（セグメント情報）

当第4四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。